

令和5年度事業計画書 みどり坂地区社会福祉協議会

みどり坂地区社会福祉協議会（以下、社協）では、急速に進展する少子高齢化を見据えて、従来の対面型に加えて、オンライン型の社会参加や交流の促進に取り組んでいる。令和4年度には、地域団体連携支援基金事業助成金（「ICT環境の新設と拡充によるオンライン活用」）等を得て、実証実験を重ねてきた。本年度は、実験の成果を踏まえて、いくつかの事業で恒常的に実施していく。

家庭に配信することによって、在宅での社会参加を可能にし、①高齢者世帯の孤立防止やフレイル予防、②家族の参加による多世代交流の促進、③ポスト・コロナ期の新しい生活様式に対応した地域の活性化につながることを目指す。

令和5年度計画

1. 対面型＋オンライン型の活動参加や交流の促進
2. 地区社協の広報の強化
3. 防災体制の構築
4. 世代間交流の促進

1. 対面型＋オンライン型の活動参加や交流の促進

(1) 「元気づくりセミナー」の開催

- ① 瀬野川東包括支援センター（以下、包括センター）と協力して、元気づくりセミナーを月1回（年12回）開催する。
- ② テーマの半分は、健康・介護・医療に関するもの（包括支援センター）、後の半分は、地域や生活課題（例：フードロス削減、消費者トラブル、まちづくりの先進例紹介等）に関するもので社協が担当する。
- ③ セミナーは、集会所で対面で行うとともに、リモート参加者に Zoom で配信する。質疑応答、ディスカッションを通して、会場とリモート参加者の交流を図る。
- ④ セミナーを通して、地域住民のまちづくりに対する関心を醸成し、活動参画を促す。

(2) 社協の会議や打ち合わせにオンライン会議を活用する。

- ① 在職者や子育て世代の会議参加を容易にし、地域活動参加者の増加を促す。

(3) ICTを活用した防災の検討

- ① 災害時のスマホを使った安否確認システム導入の促進
- ② 平時における活用方法の検討（防災については、後述）

2. 地区社協の広報

(1) 地区社協ニューズレターの発行

- ① みどり坂団地誕生 25 周年の節目として、通常のお知らせに加え、「みどり坂の過去・現在・未来」に焦点を当てた記事を定期的に発行し、冊子化。

(2) 情報発信・受信の環境整備

- ① 様々な世代の地域住民に届けられるように、ホームページの強化や他の媒体の活用を検討し、情報発信・受信の環境整備を行う。

3. 防災体制の構築にむけて

(1) 町内会自主防災会と連携して、防災情報の提供や地域の防災強化に取り組む。

(2) 安否確認システムの導入や実施を検討する。

(3) 町内会、民生委員、包括支援センター等と連携し、災害時の要支援者の避難支援計画の策定を行う。

(4) 防災意識やスキルの醸成

- ① 災害時に家族や仲間を守る防災術を学ぶ防災キャンプを町内会等と連携して実施する。

4. 世代間交流の促進

(1) 夏祭りや秋祭り等の町内会行事への参画し、世代間交流を促進する。

(2) 母親クラブ、地域委員・親子会、児童館（おひさま）と連携し、元気づくりセミナーで出た課題や意見を他の世代にも展開する。